

2018年度（平成30年度） 事業報告

公益財団法人 佐倉国際交流基金

2018年度 事業報告書

公益財団法人 佐倉国際交流基金

I. 事業の実施状況

1. 国際相互理解推進事業〔公益目的事業 1〕

1) 公開講演会（佐倉市と共催）

- ・テーマ：「国益とは何か？ ―国際秩序激動の時代に考える―」

講師：小原 雅博 氏（東京大学大学院法学政治学研究科 教授）

場所：志津コミュニティセンター

開催日：2018年6月23日（土）

来場者：250名

- ・テーマ：「食物と自然の秘密 ―食と自然との関わりを再考する―」

講師：西谷 大 氏（国立歴史民俗博物館 副館長）

場所：国立歴史民俗博物館講堂

開催日：2018年10月20日（土）

来場者：300名

第2回公開講座は、佐倉国際交流基金30周年記念講演会を兼ねて、講演いただいた。

2) 佐倉市国際文化大学

国際政治・経済・文化等をテーマに年間20回に亘る通常講座と2回の公開講座（上記を参照）を開催した。募集100名に対し、109名の応募があったが、公開抽選は行わなかった。最終的な受講申し込み者は103名であった。講義録を基金のホームページで公開した。

講師：大学教授等専門領域の有識者

場所：佐倉市中央公民館・志津コミュニティセンター等

開催日：5月～12月の土曜日

受講生：103名 修了者 95名、皆勤者 18名

延べ受講者数：1,873名（出席率 84.3%）

講座内容：

5/19 開 講 式/国際通商・日米貿易摩擦は再来するのか（清田耕造先生）中央公民館

5/26 関係史から見えてくる日越関係の将来（白石昌也先生）中央公民館

6/2 トランプ外交と「中国リスク」（川島真先生）中央公民館

6/9 政治的経済的な地域統合に向けて（石戸光先生）中央公民館

- 6/16 ロシア経済と極東地域開発 (雲和宏先生)中央公民館
- 6/23 (公開講座) 国益とは何か? —国際秩序激動の時代に考える— (小原雅博先生)
志津コミセン
- 6/30 電子デバイス技術で切り拓く経済発展・豊かな社会 (泉谷渉先生)中央公民館
- 7/7 人の心と形、幸せのメカニズム (前野隆司先生)中央公民館
- 7/14 日本の財政金融政策はこれでよいのか (田中秀明先生)臼井公民館
- 7/21 生産性と IT 投資・規制緩和・国際化 (滝澤美帆先生)中央公民館
- 7/28 アフリカ経済、中国の進出 (青木一能先生)中央公民館 (台風のため 9/29 に延期)
- 8/4 時代を変える日本のアニメ文化(氷川竜介先生)中央公民館
- 9/8 人口減少社会における移民/外国人受入れを問う (鈴木江理子先生)中央公民館
- 9/15 医療費問題を考える(印南一路先生)中央公民館
- 9/22 スローライフの南イタリアの底力(玉川喜代江/三浦幸未知先生)ミレセン佐倉
- 9/29 韓国新政権と朝鮮半島情勢(西野純也先生)中央公民館
- 9/29 アフリカ経済、中国の進出 (青木一能先生)中央公民館
- 10/6 シャンソンとフランス文学(高橋治男先生)ミレセン佐倉
- 10/20 (公開講座) 食物と自然の秘密—食と自然との関わりを再考する— (西谷大先生)歴博講堂
- 10/27 もしもの時、危機管理の話 ~個人でできるテロ対策、不当要求・悪質クレーマー対策等~(田丸誠先生)志津コミセン
- 11/10 漱石が活きた日本近代(柴田勝二先生)志津コミセン
- 11/24 ゼミ自由研究発表会 (ゼミ研究グループ)志津コミセン
- 12/1 EU の歪みと将来 (庄司克宏先生)/修了式 志津コミセン

- 3) 佐倉国際スピーチコンテスト (佐倉市と共催・佐倉市教育委員会後援)
国際交流意識の啓発を目的に中学生の英語スピーチコンテスト、小学生の英語スピーチを実施した。

開催日：2018年9月30日(日)

場 所：ミレニアムセンター佐倉

出場者：中学生 レシテーション 17名

中学生 スピーチ 7名

小学生 38名

テーマ：自由

(中学生スピーチの部は、「佐倉」をテーマとした。)

表彰(審査対象は中学生のみ)：

スピーチの部

第1位 佐伯 綾香 千葉県立千葉中学校(3年)

第2位 恩田 英海 専修大学松戸中学校(2年)

第3位 平山 竜生 臼井南中学校(2年)

レシテーションの部

第1位 本田 クリスチャン 芝浦工業大学柏中学校(2年)

第2位 菅野 結菜 西志津中学校(2年)

第3位 増田 誠 臼井中学校(3年)

星川 大空 専修大学松戸中学校(2年)

審査委員：大学英語講師・A.L.T・高校英語教師

来賓 5名

当日運営スタッフ：

審査員3名、MC 1名、

運営委員 4名、

当日ボランティア 10名、

佐倉市役所 3名、事務局4名

4) イングリッシュサロン

ネイティブの外国人と英語によるコミュニケーションを体験することにより、英語力向上のきっかけを得るとともに、体験活動を通じて、多文化共生と国際交流感覚を醸成することを目的として開催した。

3人の外国人が進行役として、それぞれ金曜日と火曜日に年間それぞれ20クラス担当し、年間120クラス、定員132名の予定に対し、137名が応募、抽選会を行った。実際の参加者は128名であった。1年を通して、運営委員会が活発に活動し、自主クラスやクリスマス会を開催した。

開催日数 金曜日 10回・ファシリテーター3名 (合計60クラス)

火曜日 10回・ファシリテーター3名 (合計60クラス)

年間120クラス

参加者 延べ1031名(2017年度は、118クラス 956名)

出席率 82.7%(2017年度は、76.3%)

ファシリテーター(進行役) 3名

運営委員 8名

2. 国際交流活動支援事業[応募申請型]〔公益目的事業 2〕

国際交流親善・多文化共生の啓発に寄与すると判断される団体・グループ等の活動支援[当基金の助成金交付内規による助成金支援]である。2018年度に助成金を交付した団体と事業は下記のとおりである。

団体名	事業名	助成金
佐倉ポルトガル語同好会	佐倉ポルトガル語同好会	14,000
中国語中級会話同好会	中国語中級会話学習	6,000
OK さくら	垣見一雅さん帰国講演会	20,000
佐倉中文会	中国語の学習及び中国との交流活動	10,000
佐倉日蘭協会	佐倉オランダ児童交流	40,000
日中友好協会	草の根交流	40,000

(助成金合計 130,000 円)

3. 外国人支援事業（佐倉市国際化推進事業受託）〔公益目的事業 3〕

1) 外国人のための日本語講座

市内在住の外国人を対象に日本語で意思疎通が可能となるよう 日常会話を中心とした講座を開催した。2017年度から、毎週土曜日に小中学生を対象としたクラスを開設している。また、日本語講座受講の外国人が日頃の勉強の成果を発表する場として「日本語講座のつどい」（日本語スピーチと母国文化の紹介）を11月11日（日）にミレニアムセンターで開催した。外国人79名を含め、全体で約160名の参加があり、成功裏に終了した。2月28日に、日本語教室開設の参考にするため、いすみ市および千葉県が、木曜日クラスを見学した。

(1) 開講クラス

- ・毎週木曜日（午前・午後 合計3クラス）
 - *ベビーシッター制度あり
 - 会場：志津コミュニティセンター
- ・毎週金曜日（夜間 1クラス）
 - 会場：ミレニアムセンター佐倉
- ・隔週土曜日(午前 1クラス)
 - 会場：レインボープラザ佐倉
- ・毎週日曜日(午前 合計3クラス)
 - 会場：中央公民館、レインボープラザ佐倉
- ・毎週土曜日(午前 合計1クラス)
 - *小中学生対象クラス
 - 会場：千代田・染井野ふれあいセンター

(2) 事業状況（カッコ内は、2017年度の実績値）

受講者 約130名 年間合計 2,407(2,257)名
 出身国 22か国（地域）

中国, 韓国, 台湾, フィリピン, タイ, インドネシア,
ベトナム, イラン, ネパール, アフガニスタン, スリランカ,
ロシア, ブラジル, ペルーなど

年間クラス 年間合計 334(366)クラス

日本語ボランティア 年間合計 877(758)名

(ボランティア数 平均 26 名、コーディネーター 7 名)

ベビーシッター 年間合計 180 名

2) 外国人のための生活相談

英語、スペイン語、中国語、合計4名の相談員と交流基金事務局員が、電話及び面接による相談を実施するとともに、学校や病院での通訳、あるいは子育て支援などの文書の翻訳などの外国人支援活動を実施した。相談だけでなく、佐倉市担当部課と協力して外国人への直接支援活動を行っている。

相談員：英語2名、中国語1名、スペイン語1名、事務局員3名

相談員交流会議：年間12回

相談・支援件数：79件

内容別件数：日常生活(8)、医療・保健(26)、日本語(38)、住居(1)、子供(9)、法律(2)、その他(0)、

言語別件数：日本語(34)、英語(11)、スペイン語(32)、中国語(0)

(注) 1案件に複数の相談内容があるので、件数に差異がある。

主な生活相談・支援 (カッコ内は、支援した外国人の国名)

- 4月 高校生の日本語学習相談 (ペルー)
- 5月 ボランティアを希望 (イラク)
眼科での通訳依頼 (ペルー)
- 6月 療育手帳取得のための面談通訳 (ボリビア)
- 7月 住宅関連のトラブル対応打ち合わせの通訳 (ペルー)
足のむくみの診療通訳依頼 (ペルー)
- 9月 療育手帳取得のための病院通訳 (ボリビア)
- 10月 精神疾患治療の通訳 (ペルー)
自閉症診断の病院通訳 (ボリビア)
- 11月 顔の腫れ治療の通訳 (ペルー)
高校生の日本語学習指導依頼 (ペルー)
子どもの呼び寄せに伴う在留資格の相談 (ネパール)
- 12月 内科、婦人科の通訳 (ペルー)
高校生の担任教諭からの報告への対応 (ペルー)
- 1月 乳飲み子を抱える難民の女性が日本語を習いたい (ウガンダ)
- 2月 生活保護家庭の緊急帰国に関する打ち合わせ (ペルー)

3月 県立高校の日本語指導員要請（フィリピン、スリランカ）
保護者面談の通訳（ボリビア）

4. その他

(1) 30周年記念事業

昭和63年（1988年）に設立された佐倉国際交流基金30周年を記念して下記の通り式典が開催され、各事業は特別経費で備品などの購入を行った。

-記念式典

日時：10月20日（土）13:00-15:00

場所：国立歴史民俗博物館講堂

来場者：310名

配布物：プログラム、レターズ30周年記念号、記念品、歴博招待券、講演会レジメ

内容：・ごあいさつと祝辞(13:00-13:20)

挨拶：宍倉理事長 祝辞：蕨市長、櫻井市議会議員、久留島歴博館長

来賓他：茅野教育長、桜井前理事長、片岡文大学長

・記念演奏会(13:25-13:45) 揚琴演奏（青野 淳子さん）

・記念講演会(14:00-15:00) 国立歴史民俗博物館副館長 西谷 大氏

「食物と自然の秘密 -食と自然との関わりを再考する-」

-30周年特別経費

・文大 パソコン（講義録、レポート集の編集用）	¥94,176
・イングリッシュサロン 外国人との交流費用	¥19,028
記念小冊子	¥16,705
・日本語講座 「つどい」横断幕	¥23,548
プロジェクター	¥50,600
・スピーチコンテスト トランシーバー	¥31,900
合計	¥235,957

(2) 附帯事業

1) 国際交流ボランティア活動

国際ボランティアバンクを通して、国際交流活動を支援した。

2) 後援事業

下記事業を後援した。

・房総日本語ボランティアネットワーク主催

「日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス」

・佐倉日蘭協会主催

オランダ事情講演会 「住んで知るオランダ」

- ・言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ
親子で参加できる講座、親子で参加できるワークショップ
- ・千葉県青年国際交流機構
青少年国際交流事業事後活動推進大会

3) 機関誌の発行

基金 **LETTERS** を発行（7月・10月）し、事業の実施状況、賛助会員、ボランティアの活動などについて紹介した。

2018年7月発行

主な記事

- 小中学生の日本語教室「AIUE さくら」
- イングリッシュサロンの紹介
- 佐倉市国際文化大学の紹介
- SIEF** 行事予定
- D I C川村記念美術館、国立歴史民俗博物館の催し物紹介
- 賛助会員紹介「D I C川村記念美術館」
- 2017年度事業報告・収支報告
- 賛助会員一覧

2018年10月発行

「創立30周年記念号」

主な記事

- 祝辞（蕨市長、櫻井議長、桜井前理事長）
- ご挨拶（宍倉理事長）
- 基金（**SIEF**）30年のあゆみ
- 事業のご紹介
- 佐倉市国際文化大学、佐倉国際スピーチコンテスト、
イングリッシュサロン、日本語講座、生活相談、助成金
賛助会員、ボランティアバンクの紹介

4) ホームページの活用

基金ホームページを使って当基金の事業概要・行事・その他財務状況などを掲載し公告の一助とした。

ホームページアドレス：<http://www.sief.jp>

以上

<参考資料>

1. 賛助会員数 (2019年3月31日現在)

個人会員	234人(217人)
外国人	3人(3人)
団体会員	7団体(7団体)
法人会員	12法人(12法人)

()は昨年度の実績

2. ボランティアバンク登録者数

2019年3月31日現在

日本語講師		176(161)
通訳・翻訳		
内 訳	英 語	182(171)
	スペイン語	29(29)
	ポルトガル語	14(14)
	中国語	43(42)
	フランス語	15(15)
	インドネシア語	7(7)
	ロシア語	4(4)
	タイ語	7(7)
	スウェーデン語	1(1)
	ドイツ語	6(6)
	韓国語	15(15)
	タガログ語(リサヤ語)	2(2)
	イタリア語	4(3)
スリランカ語	2(2)	
ホームステイ・ビジット		55(54)
イベント手伝い		224(212)
ベビーシッター		40(37)
車の運転		36(35)
その他		106(104)

()は昨年度数

3. 役員、評議員に関する事項

(1) 役員・評議員名簿

役員（理事・監事） (2019年3月31日現在・敬称略)

役員名	氏名
理事長	宍倉 昌男
副理事長	熊谷 隆夫
常務理事	石塚 孝男
理事	今村 公蔵
理事	岡村 美智子
理事	下條 義昭
理事	鈴木 博
理事	高橋 満
理事	山岡 みち代
監事	石渡 孝
監事	松井 駿介

任期 2017年6月8日から2019年評議員会まで

評議員 (2019年3月31日現在・敬称略)

	氏名
評議員	大川 靖男
評議員	横井 健一
評議員	久留島 浩
評議員	佐久間 文麗
評議員	角田 和弘
評議員	長谷川 稔
評議員	藤崎 言行
評議員	堀川 義勝
評議員	山田 朝子

任期 2015年6月10日から2019年評議員会まで

(2) 役員会等

☆第1回通常理事会（役員会） 2018年5月9日（水）
議題

- ・第1号議案 2017年度事業報告について
 - ・第2号議案 2017年度決算報告について
- 監事より監査結果の報告

- ・第3号議案 2018年度助成金交付について
- ・第4号議案 2018年度評議員会開催について

役員数 11人（理事9人 監事2人）
 理事出席数 7人 監事出席数 2人
 議決結果 原案どおり可決

☆第2回通常理事会（役員会） 2019年3月7日（木）
 議題

- ・第1号議案 基本財産買換え（案）
- ・第2号議案 事務員雇用要綱の改訂（案）
- ・第3号議案 2019年度事業計画（案）
- ・第4号議案 2019年度予算案（案）

役員数 11人（理事9人 監事2人）
 理事出席数 8人 監事出席数 2人
 議決結果 原案どおり可決

★評議員会 2018年5月29日（火）

議題

- ・第1号議案 2017年度事業報告について
- ・第2号議案 2017年度決算報告について
 監事より監査結果の報告

評議員数 9人 評議員出席数 6人
 議決結果 原案どおり承認

◇三役会

- ・第1回 三役会 2018年4月12日（木）
 2017年度事業報告・決算報告
 2018年度通常理事会・評議員会の日程と議案
- ・第2回 三役会 2018年7月4日（水）
 事業執行状況・予算執行状況
 30周年記念行事の打合せ
- ・第3回 三役会 2018年9月6日（木）
 事業執行状況・予算執行状況

2019年度事業計画・予算案基本方針
30周年記念行事の打合せ

- ・第4回 三役会 2018年11月13日(火)
事業執行状況・予算執行状況
2019年度事業計画・予算案基本方針
新役員の検討
- ・第5回 三役会 2019年2月8日(金)
事業執行状況・予算執行状況
2019年度事業計画・予算案検討
基本財産の買換え、事務員賃金単価
新役員体制
理事会議案・日程

- その他会議・監査など
2018年4月19日(木) 監事による監査
2019年1月28日(月) 八市国際交流協会会議

4. 契約に関する事項

契約締結年月日	相手方	締結の内容	契約金額
平成30年4月2日	佐倉市	佐倉市国際化推進事業	1,792,000円

5. 寄附金、協賛金等

(1) 寄附金ご協力者 (敬称略)

氏名	寄附金額	受取日
片岡 寛	10,000円	2018年10月20日

寄附金は、「30周年記念事業」(管理費)の収益(寄付金・協賛金)とした。

(2) 協賛金ご協力者 (敬称略)

氏名	金額	協賛いただいた事業
佐倉ライオンズクラブ	20,000円	佐倉国際スピーチコンテスト
佐倉ロータリークラブ	10,000円	佐倉国際スピーチコンテスト
DIC 川村記念美術館	10,000円	佐倉国際スピーチコンテスト

協賛金は「佐倉国際スピーチコンテスト」の収益とした。

6. 公益法人としての諸手続き

2018年6月12日 事業報告等の電子申請

2019年3月22日 事業計画等の電子申請